

安全データシート

ページ: 1/11

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01. 11. 2022

製品: **Ultrafuse® PP GF30**

バージョン: 2.0

(11120900/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 02.11.2023

1. 化学品及び会社情報

品名:

Ultrafuse® PP GF30

推奨用途: 3D印刷, 工業的用途のみに使用のこと。

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

規制/注記にしたがって保管および取り扱いを行えば、特に危険はない。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

ポリマー

GHS分類に寄与する成分

無水マレイン酸

含有量 (W/W): > 0 % - < 0.1 %
CAS番号: 108-31-6
化審法: (2)-1101
労働安全衛生法: (2)-1101

急性毒性: 区分 4 (経口)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 1B
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1
呼吸器感作性: 区分 1
皮膚感作性: 区分 1A
特定標的臓器毒性 (反復暴露) (呼吸器系): 区分 1 (吸入による)
水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にすること。必要に応じて呼吸補助具を使用する。症状が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
石鹼と水で完全に洗い流すこと。溶融物による熱傷については、医師の診察を受けること。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[眼に入った場合]:
眼に入った場合、大量の水で15分以上洗い流すこと。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[飲み込んだ場合]:
安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させること。直ちに医師の診察を受けること。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。
危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末

[火災時の特有の危険有害性]:

炭素酸化物

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:

汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

注意事項は特になし。

[環境に対する注意事項]:

環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。漏洩物を吸引する。

もし可能ならば、製造に再利用する。十分な換気を確保すること。粉塵を発生させないこと。

[追加情報]: 空気中に埃をまき散らすことを避ける(例: 圧縮空気です埃の面をクリーニングする)。粉塵の生成と蓄積を避けることー粉塵爆発の危険性。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵／ミスト／蒸気を吸入しない。十分な換気を確保すること。乾燥工程及び加工機器の溶解物流出口周辺では適切な換気を行うこと。着火源から離して保管することー禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉塵の発生および堆積を防ぐこと。

安全取扱注意事項:

本製品は燃焼拡大の原因にはならず、自己燃焼性もないし、爆発性もない。粉塵を発生させない。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

[保管]

適切な包装容器材料: 紙

保管安定性:
湿気を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

無水マレイン酸, 108-31-6;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.01 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入可能留分及び蒸気

CLV (ceiling limit value : 上限値) 0.8 mg/m³ ; 0.2 ppm (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP))

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.4 mg/m³ ; 0.1 ppm (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP))

Glass, oxide, chemicals, 65997-17-3;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) (ACGIHTLV), ファイバー

TWA (time weighted average : 時間加重平均) (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), ファイバー

(日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), ファイバー

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入可能部分

TWA (time weighted average : 時間加重平均) (ACGIHTLV), ファイバー

[設備対策]

システム設計に関する助言:

この製品の取り扱いに関係する局所排気装置や材料輸送システムなどのすべての粉塵制御装置には、爆発防止ベント、爆発抑制システム、または酸素欠環境を含めることを推奨する。

粉塵処理システム（排気ダクト、集塵機、容器、処理装置など）が、作業領域への粉塵の漏れを防ぐように設計されていることを確認すること（言い換えれば、装置からの漏れがないこと）。

適切に分類された電気機器と電動産業用トラックのみを使用すること。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。換気が不十分な場合は、呼吸保護具を着用すること。固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

高温の溶融物を大量に扱う場合、耐熱手袋（繊維又は皮革など）を使用すること（EN407）。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

機械処理および/又は熱溶解状態の間、接触を防止するために保護衣を着用する。作業服は、他の物と分けて保管すること。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	繊維状
色:	黒色
臭い:	無臭
臭いのしきい値:	適用せず
pH:	適用せず、物質/混合物は（水に）不溶性
融点範囲:	130 - 170 ° C
沸点:	適用せず
引火点:	適用せず
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。
可燃性 (固体/ガス):	UN transport regulations division 4.1及びGHS chapter 2.7に従い、可燃性固体ではない。 構造もしくは組成に基づくと、引火性の兆候はない。
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。

自然発火温度:	適用せず
熱分解:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。
自己発火性:	温度: > 320 °C 自己発火性なし。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。
蒸気圧:	適用せず
密度:	1.45 g/cm ³ (20 °C)
相対ガス密度 (空気):	適用せず
水に対する溶解性:	不溶
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow):	適用せず
粘度:	適用せず
動粘性率:	該当しない、製品は固体である。

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
粉塵を発生させない。粉塵の堆積を防ぐこと。

熱分解: 通常取扱い条件下で危険分解物なし。長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

[混触危険物質]:
酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:
通常の手扱い条件下で危険反応なし。

熱分解物:
長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
(経口):適用情報なし

急性吸入毒性

(吸入による):粉塵の吸入は、深刻な危険性の可能性がある。

急性皮膚毒性

(経皮):適用情報なし

急性毒性の評価

溶融物に接触すると、熱傷になることがある。

症状

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
弱い皮膚刺激を起こすことがある。弱い眼刺激を起こすことがある。弱い呼吸器系の刺激を起こすことがある。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性/刺激性:機械的刺激を引き起こす可能性がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:機械的刺激を引き起こす可能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
化学構造は感作作用を示唆していない。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発がん性

発がん性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発生毒性

催奇形性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

その物質の経皮投与による繰り返し曝露で、一回の曝露後に認められる影響に類似の影響を引き起こす。その物質の吸入投与による繰り返し曝露で、一回の曝露後に認められる影響に類似の影響を引き起こす。その物質の経口投与による繰り返し曝露で、一回の曝露後に認められる影響に類似の影響を引き起こす。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

移動性

環境区分間の輸送評価:
試験は、科学的に正当化されていない。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
実験によると、本品は不活性であり、非分解性である。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:
本品の安定性と水に対する不溶性のため、現在までの知見によると環境への悪影響は考えにくい。

13. 廃棄上の注意

国あるいは地方の法令に従って廃棄すること。

[汚染された容器]:
国あるいは地方の法令に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない 非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG
輸送規則では危険有害性物質に分類されてい

Sea transport

IMDG
Not classified as a dangerous good under

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01.11.2022

製品: Ultrafuse® PP GF30

バージョン: 2.0

(11120900/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 02.11.2023

ない		transport regulations	
国連番号もしくはID番号:	非該当	UN number or ID number:	Not applicable
品名 (国連輸送名):	非該当	UN proper shipping name:	Not applicable
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当	Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・合成樹脂類 (その他のもの)

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01. 11. 2022

製品: **Ultrafuse® PP GF30**

バージョン: 2.0

(11120900/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日): 02.11.2023

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。